

少年少女わたしの作品

貝ほら

小2 谷口あゆ

左京区・上高野小2年 谷口 愛結

古風な家

小5 藤井 豪斗

北区・京教大付京都小5年 藤井 豪斗

水

三年 本田けいこ

城陽市・富野小3年 本田 恵都

世界平和

六年 中村 静花

山科区・大宅小6年 中村 静花

友達

四年 鈴村朱音

栗東市・大宝西小4年 鈴村 朱音

右近

中三 小倉天瑠

甲賀市・土山中3年 小倉 天瑠

学びました。また今後、家でもいろいろなことで協力していこうと思いました。

詩

夏休み

南区・上鳥羽小3年

永井 実梨那

おとまり 海
りようこう アイス
プール バーベキュー
温せん スイカ 花火
夏休みは
いろんな楽しいことが
まっているなあ

海の色

伏見区・京都聖母学院小5年

田畑 咲葵

太陽に
反射された海の色
太陽の
日差しのはりが
地面にすうーと落ちていく
暑いけど
やっぱり夏は
海水浴

サイを絶滅から
救うために

作文

向日市・洛南高付小3年

井上 晴渡

みなさんは、動物園の人気者のサイが、今、絶滅の危機にあることを知っていますか。ぼくも、夏休みに「この世界からサイがいなくなってしまう」アフリカでサイを守る人たち」という本を読むまで、サイという動物は、アフリカで他の動物と一緒に、のびのびと暮らしているものだと思っていました。しかし、100年前には世界に50万頭もいたサイが、今では世界に2万7千頭しか残っていないそうです。その原因の1つが、サイの角を狙った密猟です。

この本には、サイの密猟がどのように行われているか、その残酷さが詳しく書かれていました。それを知って、ぼくは胸が張りさけそうになりました。サイを絶滅から救うためには、世界中の人に密猟の事実を知ってもらうことが必要です。みなさん、まずは是非この本を読んでください。

花背列車、最高

上京区・正親小5年

上田 璃空

「明日も楽しもうエイヤー」と花背列車をしていると、いつの間にかぼくの後ろには少しの列車が、でも、相手にはたくさんの列車がつながっていました。「うひゃー、勝てるかな」と思いました。ぼくは、仲が深まるようなキャンプファイアーでの花背列車が、

作品募集 小、中学生の作文・詩(いずれも400字詰め原稿用紙1枚以内)および習字(半紙)で、自分の作品に限り、作品には郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を書いたメモをのりつけて、〒604-18577 京都新聞社文化部「少年少女わたしの作品」係へ送ってください。採用法には図書カードを贈ります。

編集部から

京都新聞ジュニアタイムズへの感想をお待ちしています。「こんな記事が読みたい」というご希望があれば送ってください。メールアドレスはkouryu-s@mb.kyoto-np.co.jpです。

□	2	3	△
2	△	4	2
1	1	△	0
○	3	2	○

2	□	△	3	△
□	2	1	2	1
△	2	○	1	○
0	2	2	2	□
△	0	△	□	0

隣のカタチ

京大博士 パズル 答え